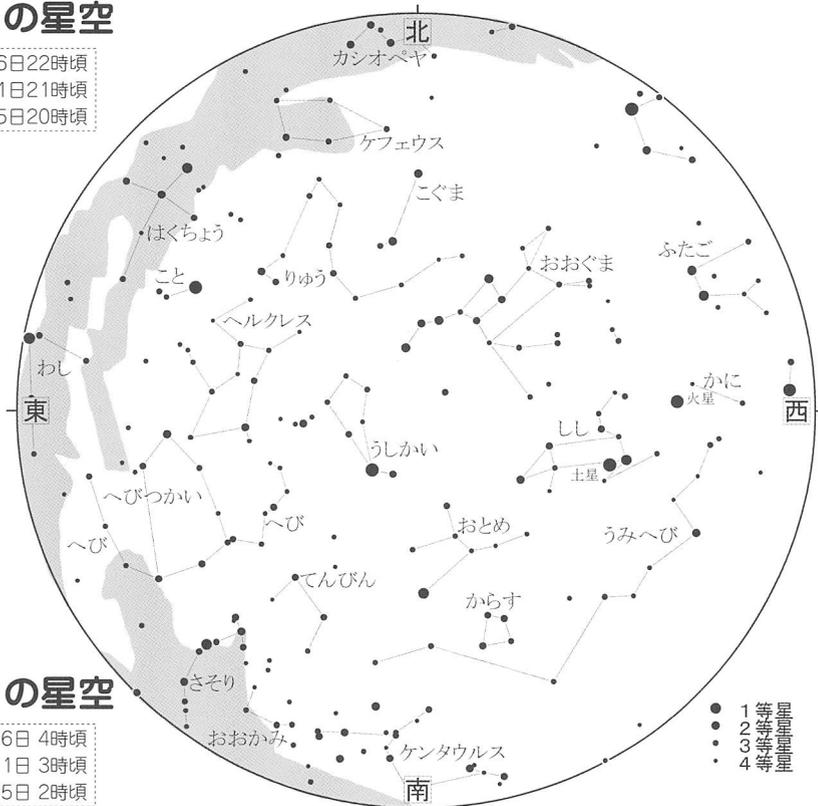




☆星空ガイド 5月16日～6月15日

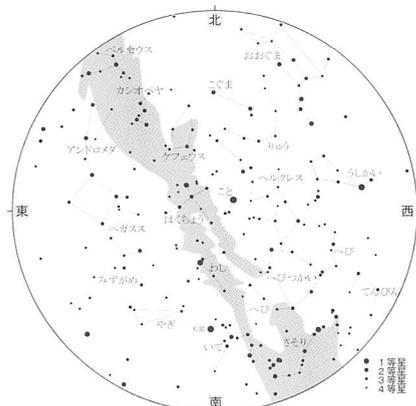
よいの星空

5月16日22時頃
6月 1日21時頃
15日20時頃



あけの星空

5月 16日 4時頃
6月 1日 3時頃
15日 2時頃



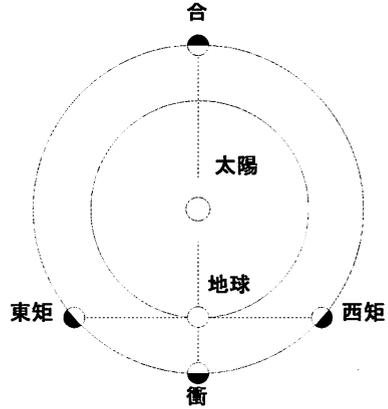
※惑星は2008年6月1日の位置です。

【太陽と月の出入(大阪)】

月	日	曜	日の出	日の入	月の出	月の入	月齢
5	16	金	4:54	18:54	15:31	2:24	10.6
	21	水	4:51	18:58	20:21	5:03	15.6
	26	月	4:48	19:02	23:48	9:40	20.6
6	1	日	4:46	19:05	2:13	16:12	26.6
	6	金	4:44	19:08	6:52	21:51	2.3
	11	水	4:44	19:11	12:27	0:03	7.3
	15	日	4:44	19:12	16:20	1:49	11.3

<土星が東矩>

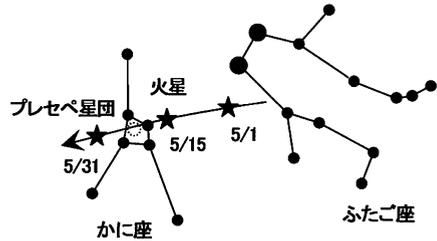
5月27日に土星が東矩(とうく)となります。これは、地球から見て土星が太陽の東側90度離れた位置にくることをいいます。この頃は、太陽が沈んだときにちょうど土星が南の空にくることになり、宵のうちが観望の適した時間になります。現在土星はしし座の1等星レグルスのすぐ東で0.6等ほどの明るさで輝いています。どちらも明るい星ですから、2つの星が並んで輝く様子は都会でも目を引くでしょう。この後、土星の見える位置はだんだんと太陽の方向に近づいていき、8月頃には見えなくなってしまいます。



地球と土星の位置関係

<火星がプレセペ星団を通過>

昨年12月に地球に接近した火星はすっかり地球から遠ざかってしまいましたが、現在でも1.4等ほどの明るさで輝いています。火星は土星の西側にあり、夕方西の空に輝いているのを見ることができます。この火星は5月22日から24日ごろにかけて、かに座のプレセペ星団を通過します。双眼鏡で見ると、プレセペ星団の星々の中に火星が輝いている様子が見えるでしょう。



火星の動き

双眼鏡で見ると、プレセペ星団の星々の中に火星が輝いている様子が見えるでしょう。

[こよみと天文現象]

月	日	曜	主な天文現象など
5	17	土	月とスピカがならぶ
	20	火	○満月(11時)/月が最遠/月とアンタレスがならぶ
	21	水	小満
	23	金	火星とプレセペ星団が接近
	25	日	月と木星がならぶ
	27	火	土星が東矩
	28	水	●下弦(12時)

月	日	曜	主な天文現象など
6	3	火	月が最近
	4	水	●新月(4時)
	5	木	芒種
	6	金	月とポルックス・カストルがならぶ
	8	日	水星が内合/月と火星がならぶ
	9	月	金星が外合/月と土星がならぶ
	10	火	入梅
11	水	●上弦(0時)	
13	金	月とスピカがならぶ	

江越航(科学館学芸員)